

IoTスクール開講備え

サポート役が事前講習

前橋 大学生ら教材要点学ぶ

役となる大学生らを対象とした事前講習が行われ、6人が協力企業のエンジニアらの指導を受けた。

事前講習は22日に前橋工科大で、24日は前橋の上毛新聞社で開かれた。24日の講習ではIoT関連のペリテック（高崎市）のエンジニアが講師を務め、群馬大数理データ科学教育研究センターが開発した、講座で用いる教材の要点を解説した。

群馬大大学院2年の中島聖人さんは「普段は（IoTを）使う側の高校生が、作る側に回る良い機会。うまくいくよう手伝いたい」と話した。



8月のぐんまプログラミングアワード（GPA、上毛新聞社主催）に出品を目指す高校生向けの連続講座「IoTスクール」が開講するのを前に、サポート

スクールには、GPAのIoT部門に独自開発したデバイスの出品を目指す高校生5組15人が参加する。27日から7月1日まで3回の日程で、群馬大や前橋工科大の学生が「お



上毛新聞社で行われた講習で指導内容を確認する学生